

## 中高生向けに保育士・幼稚園教諭の魅力を発信！

# 令和4年度「横浜幼保プロジェクト」の取組を発表します

保育・幼児教育を担う人材の確保が課題となっている中、横浜市は、市内の保育所・幼稚園の各団体と連携して、将来の担い手を増やすべく、保育士や幼稚園教諭の仕事の魅力を中高生向けに発信する「横浜幼保プロジェクト～ヨコハマ・バーン～」を実施しています。

令和4年度では、企画会議を重ね『若手保育者による対談動画』の公開及び『横浜市立中学校、高校の生徒にPRチラシ「先生になろう」の配付』を行いましたのでお知らせします。

### ● 若手保育者による対談動画「2、3年目の先生達の本音トーク」の公開

県内の養成施設の学生から「保育者に聞きたいこと」を募集し、集まった質問に対して、採用2～3年目の若手の先生たちに語り合っていました。これから保育者を目指す養成施設の学生はもちろん、中高生にも保育士・幼稚園教諭の仕事をもっと身近に感じてもらえるような動画となっています。

楽しいこと、大変だったことは？  
オン・オフの切り替えはどうしている？  
人間関係ってどんな感じ？etc…



※対談動画ページ  
二次元コード



#### 【対談動画はこちらから】

- ・横浜幼保プロジェクトホームページ内（「先生たちと話してみた」コーナー）

<https://www.yokohamabang.com/>

### ● 市立中学校、高校の生徒にPRチラシ「先生になろう」の配付

中学生・高校生に保育・幼児教育の魅力を知ってもらい、将来の仕事の選択肢の一つとして考えてもらうため、チラシ配付を通じて当プロジェクトのPRを行いました。

※市立中学校・高校の1, 2年生を対象に計約6万部を配付



【参考】「横浜幼保プロジェクト～ヨコハマ・バーン～」について（令和元年10月設立）

- ・横浜幼保プロジェクト実行委員会委員長 佐野 健一（横浜市社会福祉協議会保育福祉部会部会長）  
（構成団体：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市私立保育連盟、日本保育協会横浜支部、一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会、公益社団法人横浜市幼稚園協会、横浜市）



添付資料（別紙）：横浜幼保プロジェクト実行委員会記者発表資料（「令和4年度「横浜幼保プロジェクト」の取組について」）

お問合せ先

こども青少年局保育対策課担当課長 岡崎 有希 Tel 045-671-4468

別紙あり

# 中高生向け 保育・幼児教育の魅力発信事業

## 令和4年度「横浜幼保プロジェクト」の取組について

保育士・幼稚園教諭は、乳幼児期の育ちと学びを支える重要な役割を担う職業です。保育・幼児教育の需要が高まり、新たな担い手が必要となる一方、近年は養成校の入学者が減少するなど、人材の確保が厳しくなっています。

そうした中、横浜市内の保育所、認定こども園、幼稚園等の各団体は横浜市と連携して、団体の垣根を越えて、保育士・幼稚園教諭を目指す人を増やすために、魅力発信を行う「横浜幼保プロジェクト」を行っています。

このたび令和4年度の取組について、お知らせします。

### ●令和4年度 横浜幼保プロジェクトの取組内容

#### 【1】若手保育者による対談動画「2, 3年目の先生達の本音トーク」の公開

養成施設の学生から集めた質問について、採用2～3年目の保育者（保育園、認定こども園、幼稚園の先生たち）に、語り合っていました。

『保育の楽しさ』や、『日々の保育で大切にしていること』など、保育士・幼稚園教諭の仕事を身近に感じてもらえるような動画を当プロジェクトのホームページで公開しています。

※対談動画はこちらから (<https://www.yokohamabang.com/>)

#### 【2】市立中学校、高校の生徒にPRチラシ「先生になろう」の配付

中学生・高校生に保育・幼児教育の魅力を知ってもらい、保育士・幼稚園教諭を将来の仕事の選択肢の一つとして考えてもらうため、チラシ配付を通じて当プロジェクトのPRを行いました。

<参考>「横浜幼保プロジェクト」について（令和元年10月設立）

市内の保育四団体（社会福祉法人横浜市社会福祉協議会保育福祉部会、横浜市私立保育連盟、日本保育協会横浜支部、一般社団法人横浜市私立保育園こども園園長会）と、幼稚園団体（公益社団法人横浜市幼稚園協会）及び横浜市をメンバーとし、団体の垣根を越えて、将来の人材確保を目的に、保育士及び幼稚園教諭の魅力の発信等を行っています。

お問合せ先

横浜幼保プロジェクト実行委員会

事務局：(福)横浜市社会福祉協議会 社会福祉部長 小清水 経仁 Tel 045-201-2252